

平成 23 年 4 月 14 日

特定非営利活動法人安全安心科学アカデミー  
会 員 各 位 様

特定非営利活動法人安全安心科学アカデミー  
理事長 辻 本 忠

**安全安心科学アカデミー**  
**平成 23 年度 通常総会、第 1 回勉強会・懇談会のご案内**

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は特定非営利活動法人安全安心科学アカデミーに対してご協力頂き厚く御礼申し上げます。

平成 23 年度通常総会、第 1 回勉強会・懇談会のご案内をさせていただきますので多数ご参加下さい。敬具

記

**第1部 通常総会**

月 日 : 平成 23 年 5 月 23 日(月)15 時 00 分～15 時 40 分  
場 所 : 財団法人電子科学研究所講習室  
〒542-0081 大阪府中央区南船場 3 丁目 3 番 27 号  
サンエイビル 1 階(場所の詳細は裏面地図を参照のこと)

**第2部 勉強会**

恒例の勉強会を開催いたしますのでご参加ください。

月 日 : 平成 23 年 5 月 23 日(月)15 時 50 分～17 時 50 分  
場 所 : 財団法人電子科学研究所講習室(第 1 部と同じ)

演 題 : 講演要旨は裏面をご参照ください。

**1. 福島原発事故の経過：公開される情報の虚と実**

大阪市立大学大学院医学研究科 放射性同位元素実験施設 木村政継

**2. 福島原発事故後の 3 週間：情報と知識の不足**

藤田保健衛生大学 客員教授 下 道國

**第 3 部 木村、下先生との懇談会**

折角、木村、下先生にお話しの機会を得る事ができましたので、先生を囲んで先生の身近なお話しをしたいと思っておりますので、ご参加頂きたくお願い致します。

月 日 : 平成 23 年 5 月 23 日(月)18 時 00 分～19 時 30 分  
場 所 : 会場の近所  
参加費 : 5,000 円

会場の都合がありますのでご出欠のご返事を同封葉書でご返送下さい。  
第 1 部の通常総会ご欠席の場合は、必ず同封葉書の委任状を返却下さい。

## 第2部 勉強会 講演要旨

### 1. 福島原発事故の経過：公開される情報の虚と実

大阪市立大学大学院医学研究科 放射性同位元素実験施設 木村政継

放射能に強いアレルギーのある日本人をパニックに陥れることなく、ここまで馴化させてきた政府の対応は見事というべきかもしれない。が、その陰で、原因不明、測定していない、値が低いので公表するまでもないといったかたちで、個々の状況においては情報の制限や公開遅延がなされ、それらが第三者の批判をかわすのに使われてきた面は否めない。結果として、本質的な危険性への認識が遅れ、対応が後手に回ってきたとすれば問題である。

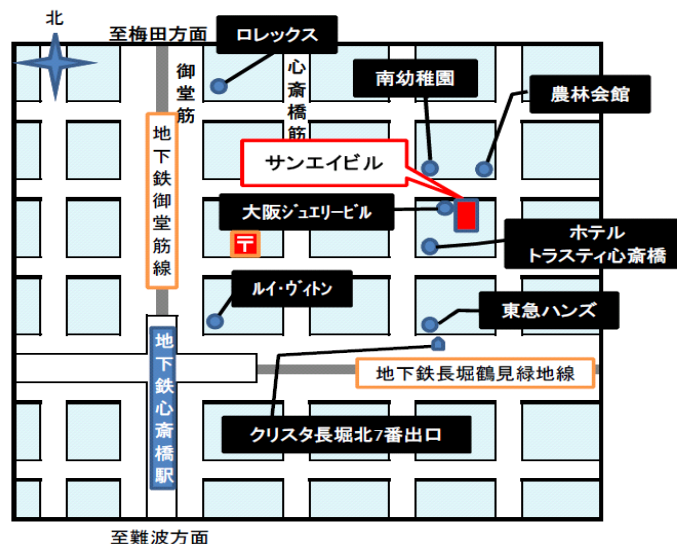
現在進行形の事象について、前もって多くを規定することは難しいところがありますが、原子炉事故の最大の焦点である冷却の問題を出発点として、原子炉に注入された水の行方と今後の海洋汚染、また、ヨウ素とセシウム以外の放射性物質の漏出、人体への影響など今後につながる問題を考えてみます。

### 2. 福島原発事故後の3週間：情報と知識の不足

藤田保健衛生大学 客員教授 下 道國

情報社会と云われて久しいが、本当に必要な情報が与えられているのだろうか。福島原発事故では、環境放射能とその線量評価が対比されて語られることが多く、またその比較は、医療被ばくとの比較と並んで、一般公衆には理解しやすいと思われる。しかるに、その情報は極めて限られている。われわれが環境屋のプロとして語るには、施設周辺や数百キロ圏内の詳しい実測データが必要であるが、それがないために、どうしても希望的な語りになりがちである。「由らしむべし、知らしむべからず」とは、「民衆は込み入ったことは良く理解できないのだから、(我々を)信頼するようにしなければならない」であるが、それができないなら「知らしむべし、由らしむべからず」に徹してもらいたいものである。

(財)電子科学研究所 心斎橋研修センター案内図  
大阪府中央区南船場3丁目3番27号 サンエイビル1階  
電話：06-6251-3100



サンエイビル：地下鉄御堂筋線心斎橋駅下車、A階段で出口2 長堀クリスタ方面北7番出口(東急ハンズ前)をご利用下さい。大阪ジュエリービル東隣。